

平成28年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	仕事・子育て両立支援事業に必要な経費			担当部局庁	子ども・子育て本部			作成責任者			
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	子ども・子育て支援担当 児童手当管理室			竹林 経治 三好 圭			
会計区分	年金特別会計子ども・子育て支援勘定										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	子ども・子育て支援法第59条の2第1項			関係する計画、通知等	平成28年度企業主導型ベビーシッター利用者支援事業費の国庫補助について(平成28年5月27日府子本第330号 内閣総理大臣通知)						
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、少子化社会対策、男女共同参画			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	労働者の仕事と子育てとの両立に資する子ども・子育て支援の提供体制の充実を図るべく、子ども・子育て支援法に新たに「仕事・子育て両立支援事業」を位置づけ、企業主導型の多様な就労形態に対応した保育サービス等に対し、事業主拠出金を活用して助成・援助を行い、最大5万人の保育の受け皿の整備など子ども・子育て支援の提供体制の充実を図る。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	子ども・子育て支援法に基づき、事業所内保育施設のうち、一定の基準を満たすものに対し、その運営に係る費用及び施設の設置に係る費用について、認可施設の水準の補助を行う。また、企業の労働者が就労等のためベビーシッター派遣サービスを利用した場合や、就学前の多胎児の育児を行う保護者等がリフレッシュを図る等のためベビーシッター派遣サービスを利用した場合に、その利用料の一部を助成する。										
実施方法	補助										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	0	0	0	80,033	0				
	執行額	-	-	-	-	-					
	執行率(%)	-	-	-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度			
	平成29年度までに46.5%	1,2歳児への保育サービス提供割合	成果実績	%	-	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	-	46.5		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度			
	平成29年度までに16.1%	0歳児への保育サービス提供割合	成果実績	%	-	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	-	16.1		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	待機児童解消加速化プランに基づく受入増加数	活動実績	人	-	-	-	-				
		当初見込み	人	-	-	-	40,000				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	ベビーシッター派遣事業割引券	活動実績	枚	-	-	-	-				
		当初見込み	枚	-	-	-	100,000				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	ベビーシッター派遣事業割引券(双生児等多胎児家庭用)	活動実績	枚	-	-	-	-				
		当初見込み	枚	-	-	-	2,000				

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	執行額/交付申請件数 (28年度見込みは、予算額/保育の受け皿(人))		単位当たりコスト 円	-	-	-	1,991,317
		計算式	/	-	-	79,652,674千円/40,000	

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	ベビーシッター派遣事業 割引券1枚あたり単価		単位当たりコスト 円	-	-	-	2,200
		計算式	/	-	-	-	

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	ベビーシッター派遣事業割引券(双生児等多胎児家庭用) 割引券1枚あたり単価		単位当たりコスト 円	-	-	-	9,000
		計算式	/	-	-	-	

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	仕事・子育て両立支援事業費補助金	80,033		
	計	80,033	0	

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、待機児童解消に向けた保育の受け皿確保が求められる中、父母等の就労及び子育ての支援促進のため、事業所内保育を目的とする施設等の設置者に対する助成及び援助やベビーシッター派遣サービスの利用者支援を行うものであり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	子育て支援に地域差が生じないようにするため、国の補助事業としている。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	待機児童解消に向けた保育の受け皿確保のため、子ども・子育て支援法の改正を行ったところであり、本事業は優先度の高い事業である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	公募により支出先が選定されており、競争性が確保されている。
一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱に基づき、補助することになっており、妥当である。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	交付要綱に基づき、本事業の実施に必要な経費のみを補助対象としているため妥当である。
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付要綱に基づき、本事業の実施に必要な経費のみを補助対象としている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
所管府省・部局名	事業番号	事業名
-	-	-
-	-	-

点検・改善結果	点検結果	本事業は、国民や社会のニーズを的確に反映しており、公募により支出先が選定されており、競争性が確保されている等、各点検項目による評価は、概ね妥当と考えられる。
	改善の方向性	当該事業は、各点検項目による評価はおおむね妥当と考えられることから、今後も児童の健全育成を図るために、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

